



**TIA**  
オープンイノベーション拠点

TIA かけはしワークショップ  
「放射光利用における新分野開拓のための連携形成」

開催趣旨:

KEK の放射光施設であるフォトンファクトリー(PF)は、利用開始から 30 年以上を経て、光源性能としては旧世代に属するものの、現在でも年間 3000 人以上のユーザーが利用し、日本国内では SPring-8 に次ぐユーザー数、アウトプットを維持している。PF の利用は KEK のミッションである大学共同利用をはじめとし、利用開始当初から産業界のユーザーにも開かれており、物質・生命研究を中心に幅広い分野での研究が展開されている。利用開始直後には放射光の利用そのものを目的としたユーザー層が中心であったが、今日では分析ツールの一手法として放射光を利用するユーザー層にまで利用が拡大している。

その一方で、自然科学における数ある研究分野の中で、現状フォトンファクトリーで行われている研究はごく一部であり、潜在的に放射光を有効に利用できる可能性を秘めている研究分野がまだあることは疑う余地がなく、TIA 連携の枠組みのなかで活発な活動をしている研究者からご講演いただき、放射光利用のニーズを探索し、新たな利用分野の拡大や、将来の放射光源で展開できるサイエンスの可能性について議論を行いたい。

日時: 2017 年 3 月 22 日(水) 9:30 - 17:00

場所: [つくばイノベーションプラザ](#)大会議室

参加費: 無料

連絡先: reiji.kumai@kek.jp

当日参加も受け付けますが、できるだけ事前登録をお願いします。

参加登録は[こちら](#)よりお願いします。

プログラム（最終調整中）

- 9:30 開会・趣旨説明
- 9:35 KEK 理事挨拶（KEK 野村理事）
- 9:40 PF の現状と将来計画（KEK 村上 PF 施設長）
- 10:20 化合物半導体のドーパント分析（仮題）（産総研 山田寿一）
- 10:50 顕微分光法による材料 heterogeneity の観察と今後の展開（KEK 木村正雄）
- 11:20 構造生物学的解析とそれに基づく製薬（筑波大 川口敦史）
- 11:50 昼食
- 13:30 超伝導材料の開発と解析（物質・材料研究機構 高野 義彦）
- 14:00 固体物質レーザーアブレーションによる原子内包フラーレン生成技術の開発（産総研 榊田創）
- 14:30 放射光利用による土壌中の元素動態解明へのアプローチ（筑波大 浅野真希）
- 15:00 Break (15)
- 15:15 微生物のイメージング解析技術開発と今後の展望 ～一細胞から集団まで～（筑波大 野村暢彦）
- 15:45 PF における X 線イメージング（医学応用、産業応用）について（KEK 兵藤一行）
- 16:15 総合討論（30）
- 16:45 閉会
- 
- 17:30 頃 懇親会（つくばセンター近辺）

懇親会:

ワークショップ終了後につくば駅近辺で懇親会を予定しております。

参加者数を把握したいので、参加希望の方は以下のリンクより申し込みをお願いします。

[参加登録及び懇親会申し込み](#)